

仙北市長 門脇光浩

## 「市役所の生命線」

行政と政治の役割は、突き詰めると税金の使い方を決めること（公平性は大原則）ではないでしょうか。国民の要望は年々増加し、一方で税収は減少しています。「なぜできないのか」と、毎日のようにお叱りの言葉をいただいておりますが、すみません、意地悪しているわけではないのです。

できない理由の一つは、法律や条例など時代に追いついていないこと。役に立たない約束に縛られることは、市役所にとっても市民にとっても不幸な状態です。でも市の条例や基準は、市議会と

の議論で改めたり、新たにつくったりすることが可能です。

あとは「予算がないので」…。これじゃあ一歩も前に進めません。

市役所の生命線は、「どうすれば市民の要望に応えることができるのか」と言う思考回路です。仕事のスタートラインはここです。そのために、不便な制度や基準は改め続け、予算の不足は知恵と汗で補いましょう。

市民の皆さん、困りごとや要望を市役所に持ち込んでください。「今までいくら言ってもダメだった」「もう頼まない」など、あきらめてしまっただけではないですか？（でも、皆さんが気付かない間に、市役所は大きく変わっているかもよ！）

市役所にとって、お客様は市民の皆さんで、市役所をパワーアップさせる原動力は、皆さんの声だと思えます。

## 国勢調査仙北市実施本部設置

今年の10月、5年に1度の国勢調査が全国一斉に行われます。

市では、この調査を正確かつ円滑に進めるため、副市長を本部長として「平成22年国勢調査仙北市実施本部」を設置しました。

9月下旬には調査員が各世帯を訪問しますので、調査票のご記入、よろしく願います。



## 市民の皆さんへ

### 口蹄疫侵入防止の徹底を！

現在、韓国・中国・台湾をはじめとする諸外国に続き、日本でも10年ぶりに、宮崎県で口蹄疫が発生しました。

当市への侵入防止を徹底するため、次のことを守りましょう。

- ・農場への部外者の立ち入り制限を徹底
- ・畜舎出入り口には、踏み込み消毒槽を設置
- ・畜舎や関係車両は、こまめな清掃・消毒を実施
- ・海外や国内に旅行する際は、畜産関係施設への立入自粛
- ・極力、県内・市内の牧草や稲わらを給与
- ・残飯は充分に加熱してから給与
- ・家畜を導入したときは、隔離飼育して異常の有無を確認
- ・異常畜を発見したときは、獣医師、家畜保健衛生所に届出

※口蹄疫は偶蹄類（牛・豚・羊・鹿など）の病気であり、人には感染しません。

#### 【口蹄疫ウイルスに有効な消毒薬】

塩素系消毒薬 4%炭酸ソーダ 0.2%クエン酸  
生石灰 消石灰 グルタルアルデヒド

■問合せ 仙北市農山村活性課 TEL 43-2206

広報せんぼくでは、地域イベントや情報などを募集しています

広報せんぼく 2010年6月16日号 No.60

■発行・編集 仙北市役所 総務部総務課文書広報係

■〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地

■発行 1日・16日 ■印刷 株式会社松本印刷

■TEL0187 (43) 1111

■FAX0187 (43) 1300

■E-Mail [semboku@city.semboku.akita.jp](mailto:semboku@city.semboku.akita.jp)

■URL <http://www.city.semboku.akita.jp/>